

福岡市中小企業サポートセンター 経営支援施策普及事業アンケート
結果報告書(令和7年度)

1. 調査の概要

1 調査の概要

- (1)調査名称 : 福岡市中小企業サポートセンター 経営支援施策普及事業アンケート
- (2)調査対象 : 中小企業・小規模事業者
- (3)調査方法 : 郵送、オンライン
- (4)調査期間 : 令和7年4月～令和8年3月
- (5)有効回答数 : 336 件(令和6年度:661 件)

2 回答者属性

業種	件数	割合
建設業	62	18.5%
卸売業	28	8.3%
小売業	35	10.4%
運輸・倉庫業	3	0.9%
製造業	14	4.2%
飲食店	37	11.0%
不動産業	29	8.6%
サービス業	72	21.4%
娯楽業	1	0.3%
宿泊業	3	0.9%
その他	48	14.3%
無回答	4	1.2%

業歴	件数	割合
1 年未満	1	0.3%
1年以上5年未満	72	21.4%
5年以上 10 年未満	56	16.7%
10 年以上 20 年未満	75	22.3%
20 年以上	131	39.0%
無回答	1	0.3%

※小数点第2位を四捨五入しており、合計が 100%とならない場合がある。

3 まとめ

本アンケート結果からは、令和 7 年度の中小企業を取り巻く経営環境について、売上は横ばい傾向にある一方、コスト高の影響が続き、収益力や資金繰りへの不安が強まっている状況が読み取れる。

売上高は「増加」「減少」とともに割合が低下し、「あまり変わらない」が増加しており、需要が大きく落ち込んでいるわけではないものの、売上を伸ばし切れず停滞局面にある。一方、仕入価格は引き続き多くの事業者で上昇しており、販売価格については「変わらない」が過半数を占めるなど、価格転嫁が十分に進んでいない実態がうかがえる。また、売上が横ばいで推移する中、原材料費や人件費、エネルギーコストなどの支出が増加し、資金繰りについて「心配がある」「厳しい」と感じる事業者の増加がうかがえる。

景況感に関しては、「悪い」「やや悪い」が半数を超え、先行きについても 7 割以上が不安を感じており、将来に対する不安感が強い。国際情勢による影響は限定的とする回答が多いものの、一部では悪影響を実感しており、全体の景況感を決定づける主因ではないものの、不安感を強める要因として無視できない存在となっている。

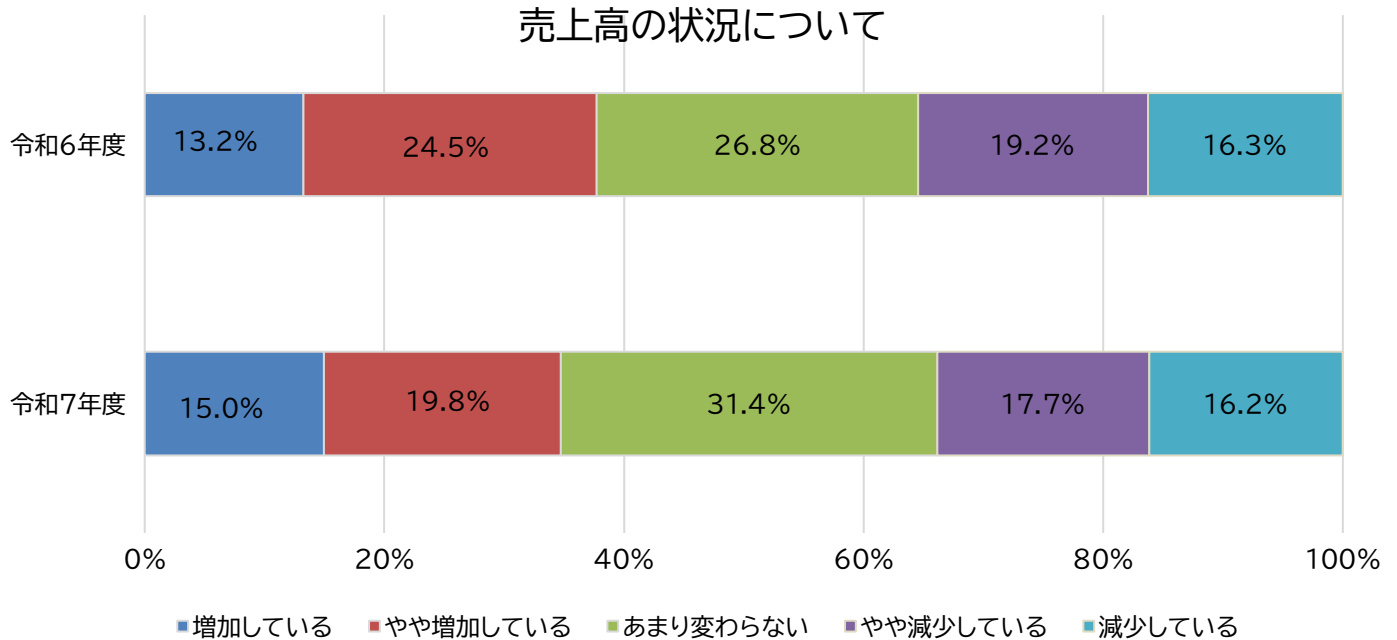
雇用面については、やや異なる傾向が見られる。従業員数を維持している事業者が多く、人手の確保状況もやや改善している一方で、「人が集まらない」「定着しない」「育成が難しい」といった質的な人材課題が深刻化している。

総じて、現在の中小企業は、急激な景気後退には至っていないものの、コスト高と先行き不安により経営の余裕が失われつつある局面にある。

2. 調査内容

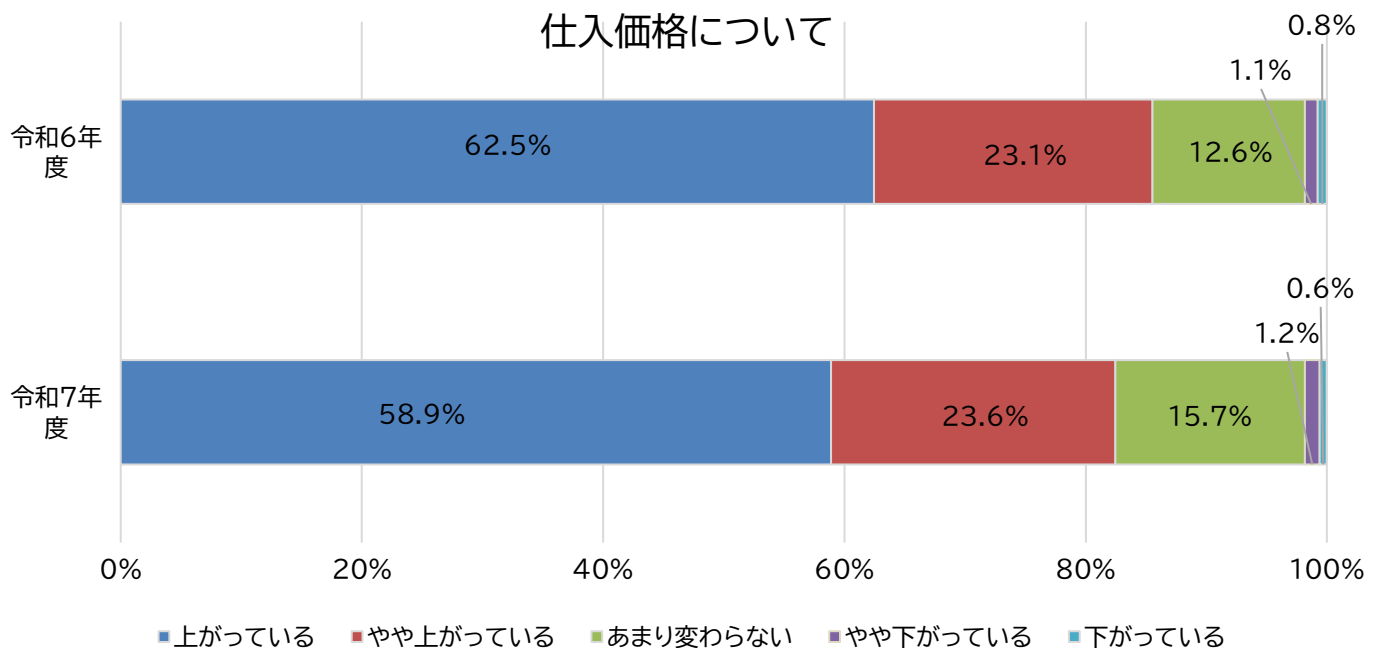
(1)【売上高】1年前の同時期と比べ、売上高の状況はいかがですか。

- 最も多かったのは、「あまり変わらない」の31.4%。
- 「増加している」「やや増加している」を合わせると34.8%で、昨年比で2.9ポイント低下している。
- 「減少している」「やや減少している」を合わせると33.9%で、昨年度比で1.6ポイント低下している。



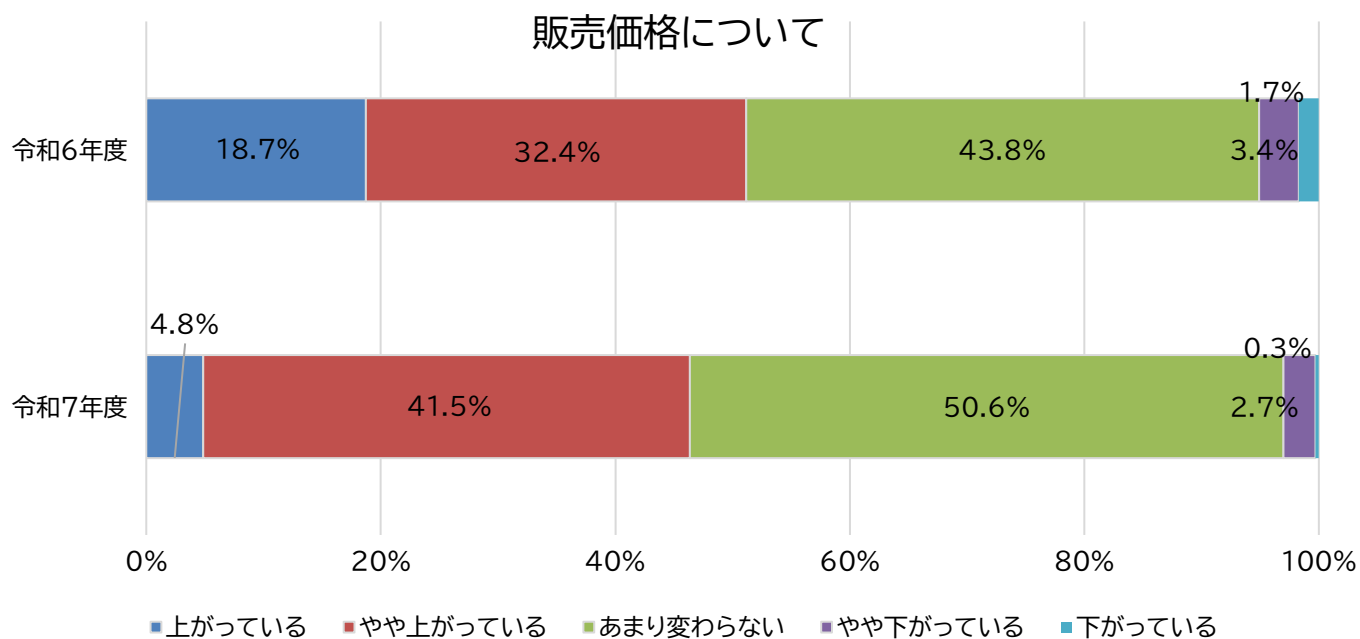
(2)【仕入価格】1年前の同時期と比べ、仕入価格は上がっていますか。

- 最も多かったのは、「上がっている」の58.9%。
- 「上がっている」「やや上がっている」を合わせると82.5%で、昨年度比で3.1ポイント低下している。



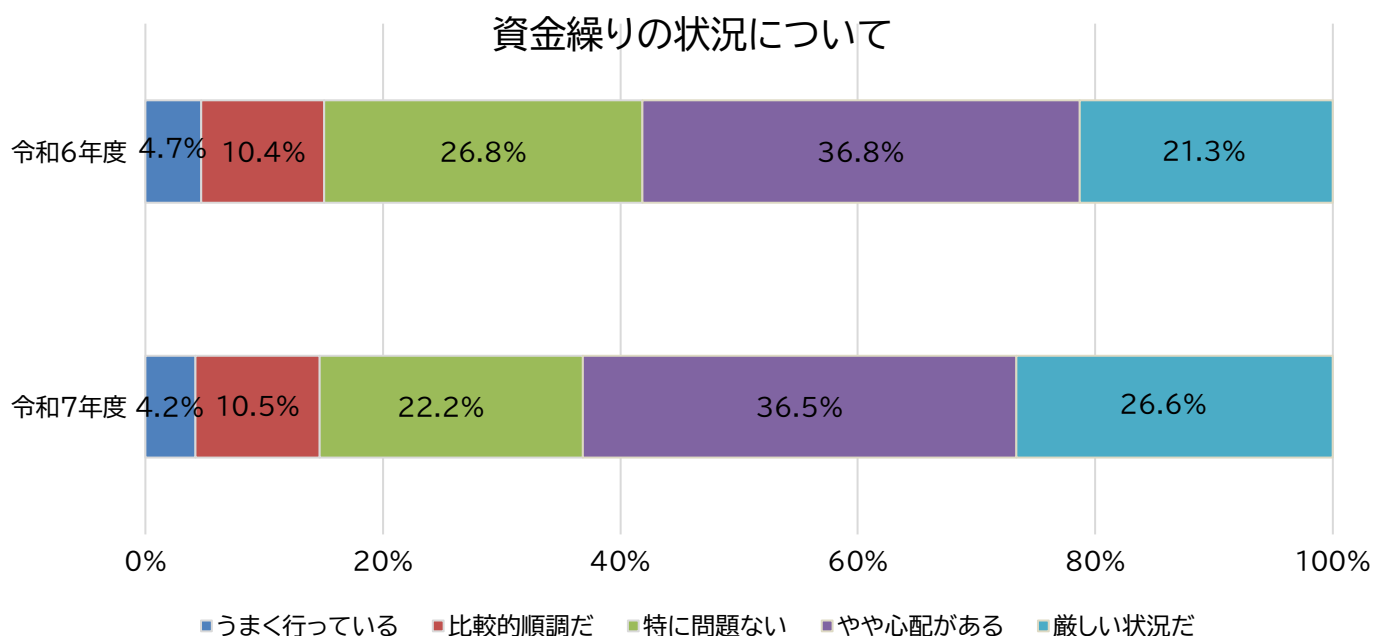
(3)【販売価格】1年前の同時期と比べ、販売価格は上がっていますか。

- 最も多かったのは「あまりあまり変わらない」の 50.6%。
- 「上がっている」「やや上がっている」を合わせると 52%で、昨年度比で 4.8 ポイント低下している。



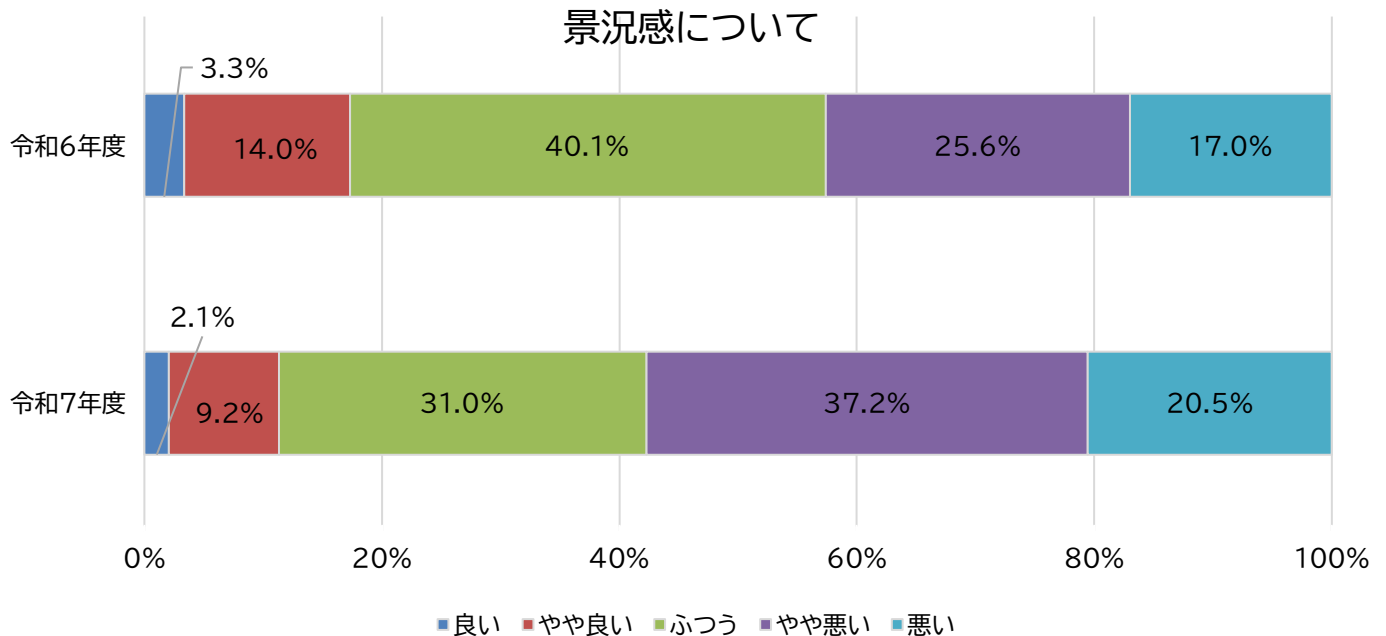
(4)【資金繰り】資金繰りの状況はいかがですか。

- 最も多かったのは、「やや心配がある」の 36.5%。
- 「うまく行っている」と「比較的順調だ」を合わせると 14.7%で、昨年度比で 0.4 ポイント低下している。
- 「やや心配がある」と「厳しい状況だ」を合わせると 63.1%で、昨年度比 5 ポイント上昇している。



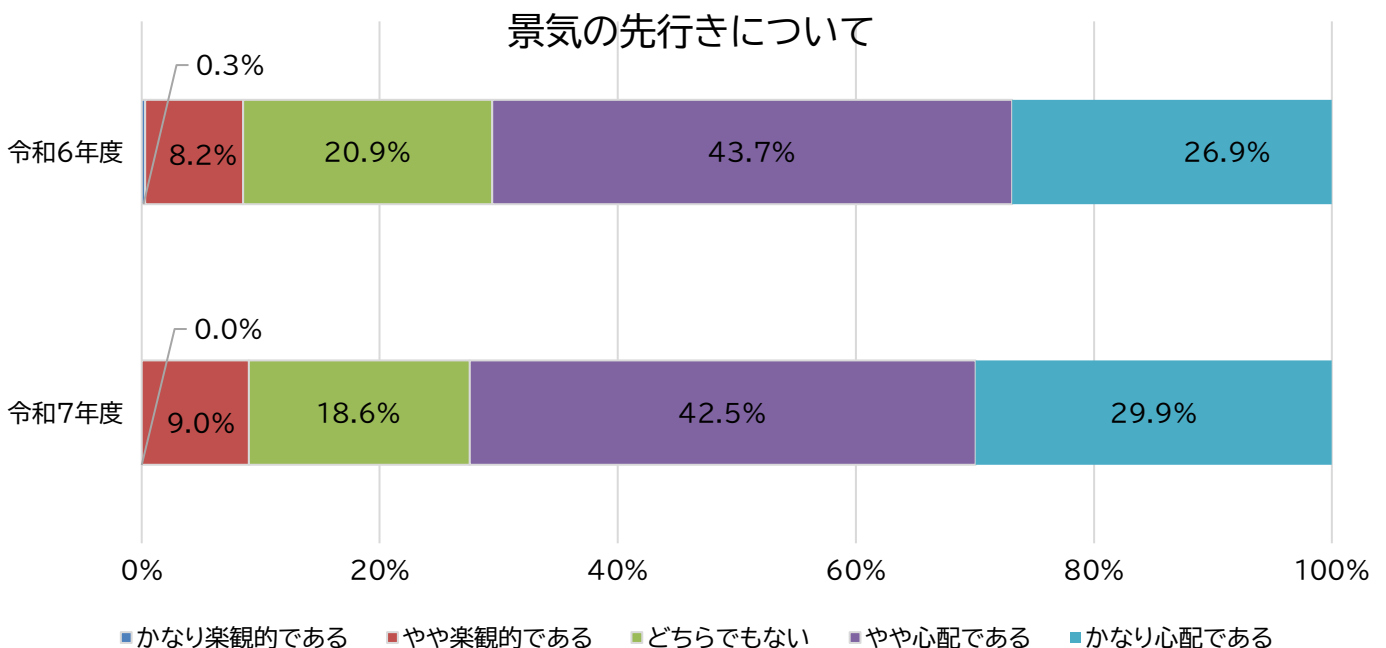
(5)【景況感】景況感を教えてください。

- 最も多かったのは、「やや悪い」の 37.2%。
- 「良い」「やや良い」を合わせると 11.3%で、昨年度比で 6 ポイント低下している。
- 「悪い」「やや悪い」を合わせると 50.4%で、昨年度比で 15.1 ポイント上昇している。



(6)【景況感】景気の先行きについてどのように予想されますか。

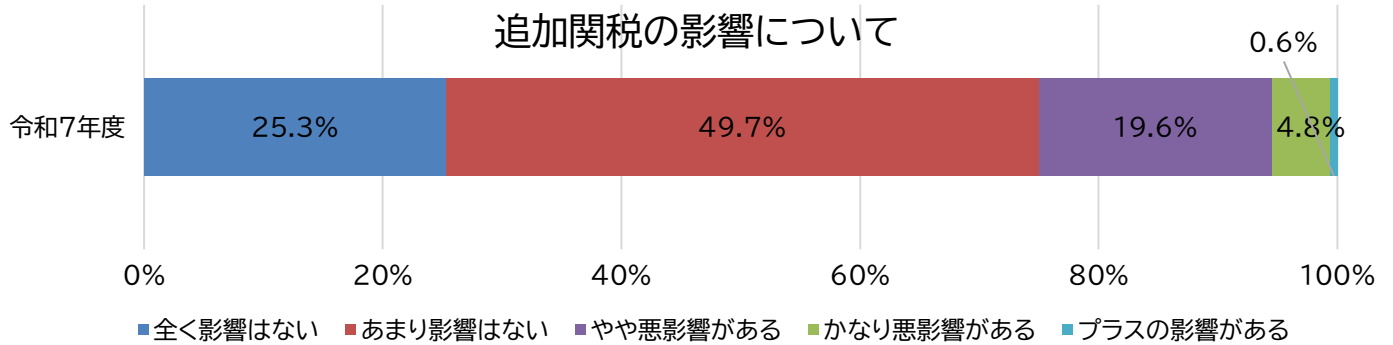
- 最も多かったのは、「やや心配である」の 42.5%。
- 「かなり心配である」「やや心配である」を合わせると 72.4%で、昨年比 1.8 ポイント上昇している。



(7)【景況感】米国の追加関税による影響はありますか。

※令和7年4月より項目新設

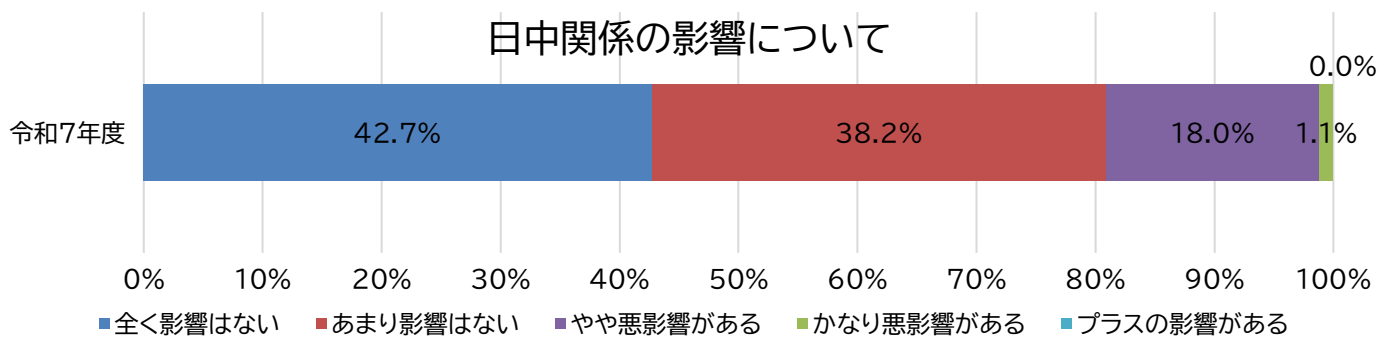
○最も多かったのは、「あまり影響はない」の49.7%。
○「やや悪影響がある」「かなり悪影響がある」を合わせると24.4%である。



(8)【景況感】日中関係の変化による影響はありますか。

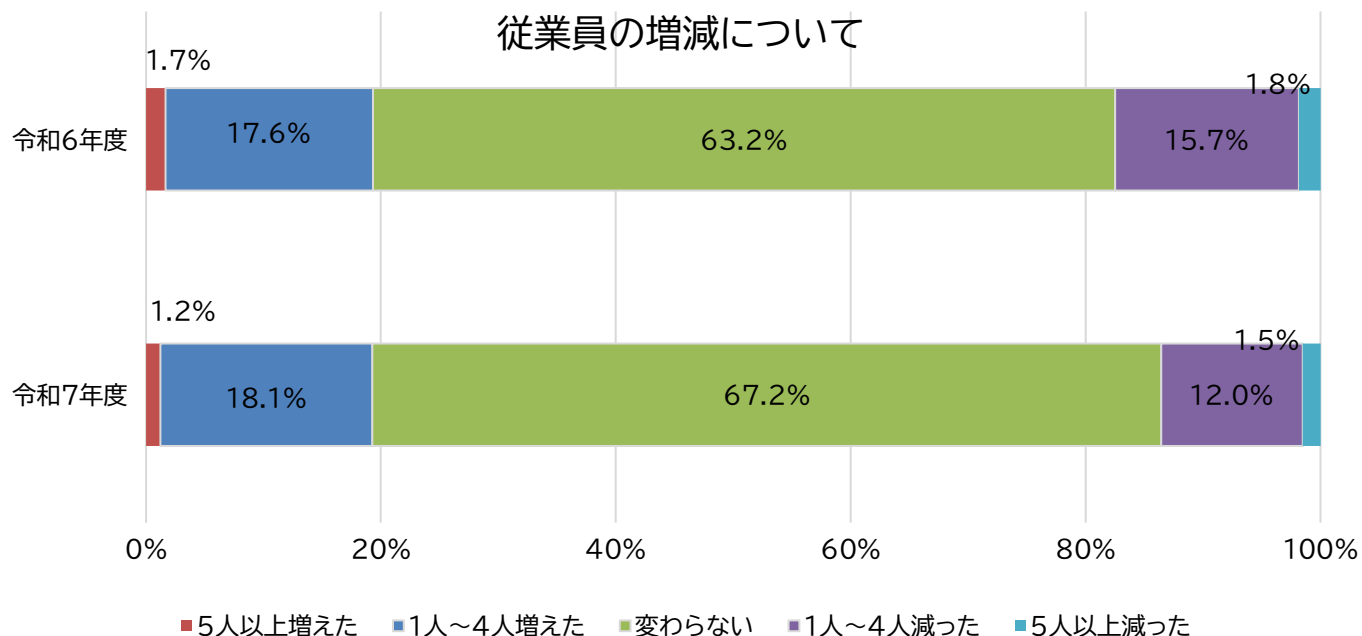
※令和8年1月より項目新設

○最も多かったのは、「全く影響はない」の42.7%。
○「やや悪影響がある」「かなり悪影響がある」を合わせると19.1%である。



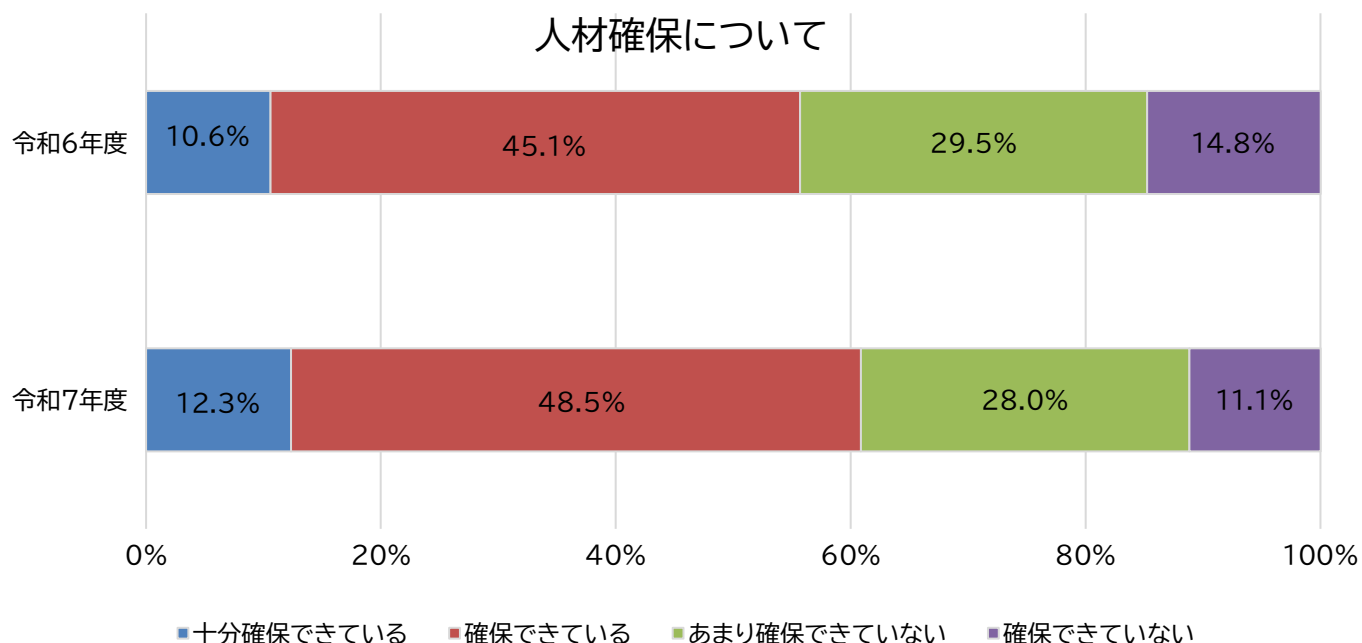
(9)【人手】1年前の同時期と比べ、従業員の増減を教えてください。

- 最も多かったのは、「変わらない」の67.2%。
- 「5人以上増えた」「1～4人増えた」を合わせると19.3%である。
- 「1～4人減った」「5人以上減った」を合わせると13.5%である。



(10)【人手】現状、必要な人手(従業員)は確保できていますか。

- 最も多かったのは、「確保できている」の48.5%。
- 「十分確保できている」「確保できている」を合わせると60.8%で、昨年度比5.1ポイント上昇している。
- 「あまり確保できていない」「確保できていない」を合わせると39.1%で、昨年度比5.2ポイント低下している。



(11)【人手】人材の確保について課題に感じている点は何ですか。

- 最も多かったのは、「求人を出しても人が集まらない」の45%。
- 「求人を出しても人が集まらない」「なかなか定着しない」「既存従業員の育成が難しい」合わせると75.3%であり18ポイント上昇している。

